

# 令和4年度

## 金沢版総合戦略推進事業実績報告

金沢市では、新型コロナの影響で事業やイベントの開催等が制限される中、十分な感染防止対策を講じた上で以下の事業をはじめ、幅広く地方創生につながる事業を実施しました。

### ①若い世代に優しく、子育ての喜びを分かち合う まちをつくります

未就園児の親を対象に、育児負担の軽減と交流を図るための育児教室を新たに開催したほか、33児童館の児童・児童厚生員が日頃の活動の成果を発表し会員相互の交流を図るとともに、広く市民に児童館活動を周知する児童館フェスティバルを4年ぶりに市民芸術村で実施しました。



## ②金沢の強みを生かし、人々が愛着を持ち、 集うまちをつくります

子どもたちが文化に触れ、親しむ機会を創出するとともに、令和5年秋に開催の「いしかわ百万石文化祭 2023」の機運醸成を図るため、本市のプレイベントとして、「子ども文化体験ワールド」を8月と2月に2度開催しました。小中学生の親子が箏、琵琶、和太鼓などの音楽文化や、加賀宝生能、金沢素囃子、茶道、金箔貼り、和菓子作りなどの伝統文化を体験し、本市の文化への理解を深めました。



### ③イノベーションにより産業と雇用が創出される まちをつくります

「子供の独創力育成事業」として、食や工芸などをテーマに、子供達の独創的なアイデアを育むとともに、将来を担う人材育成につながるプログラムを実施しました。

また、「スタートアップ・新ビジネス創出事業」として、金沢未来のまち創造館に貸しオフィスやシェアオフィスのほか、コワーキングスペースや多目的室を設け、事業発表会や商談会、起業家セミナー、ワークショップ、技術交流会などの開催を通じ、最先端技術を活用した新たなビジネスや食・工芸の付加価値の創造をめざす人たちを支援しました。



#### ④周辺地域と連携し、心地よく暮らしやすい まちをつくります

本市と石川中央都市圏を構成する3市2町（白山市、野々市市、かほく市、津幡町、内灘町）との連携を深め、あらゆる世代が心地よく暮らしやすいまちづくりを目指しています。

また、まちなみや生活に木を取り入れ、歴史と調和した金沢ならではの魅力ある持続可能なまちづくりを目指し、「木の文化都市・金沢」創出事業を実施しました。令和4年7月に「木の文化都市・金沢」シンポジウムを開催するなど、市民に広く、生活の中に息づく木の文化や木材の活用について学ぶ機会を創出するとともに、関係団体との協働により、木に親しみ、木の魅力に触れていただくイベントを実施しました。



お問い合わせ先

総務局 総務課

電話番号 : 076-220-2091

FAX 番号 : 076-260-6921

[soumu@city.kanazawa.lg.jp](mailto:soumu@city.kanazawa.lg.jp)